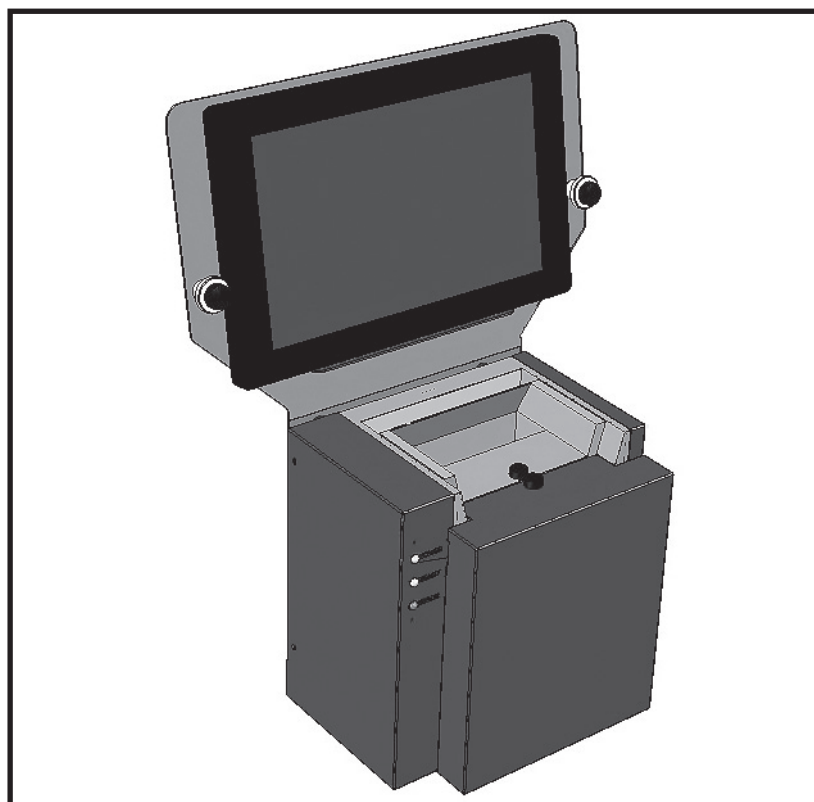


9500 シリーズ

e ポスト 生産実績収集端末

取扱説明書 V1.0



2020.10



お使いになる前に、この取扱説明書をお読み下さい。
お読みになった後は、いつでも使用できるよう、ファイル等に
綴じて大切に保管して下さい。

安全上のご注意

安全にお使いいただくために
必ずお守り下さい

お買い上げいただきました製品（本装置）および取扱説明書には、お使いになる方や他の人々への危害と財産の損害を未然に防ぎ、本装置を安全に正しくお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。本装置を正しく末永くご使用いただくため、「安全上のご注意」を含んだ本取扱説明書を必ずお読み下さいますようお願いいたします。

— 絵表示について —

この「安全上のご注意」は製品を安全に正しくお使いいただき、使用者や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読み下さい。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容、及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。




注意（警告を含む）を促す内容であることを告げるものです。



禁止の行為であることを告げるものです。



行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。

たとえば  は、「差し込みプラグをコンセントから抜く事」を示しています。

警告

- ◆ 万一、煙が出ている、変な匂いがする等の異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、その後必ず、差し込みプラグをコンセントから抜いて下さい。煙等がなくなるのを確認して、保守サービス会社に修理をご依頼下さい。お客様による修理は危険ですから絶対におやめ下さい。



プラグを抜く

- ◆ 本装置を落としたり、強い衝撃を与えたりしないで下さい。
- ◆ 万一、この装置を落とした場合は本体の電源スイッチを切り、差し込みプラグをコンセントから抜いて保守サービス会社にご連絡下さい。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



プラグを抜く

- ◆ 電源コードは本体付属品を使用して下さい。付属品以外の電源コードを使用すると、火災の恐れがあります。



専用品使用

- ◆ 必ずアース（接地）して下さい。万一漏電した場合、火災、感電の恐れがあります。ただし、ガス管、水道管、蛇口、避雷針などにはアース（接地）を行わないで下さい。



アース接続する

- ◆ この装置を改造しないで下さい。火災・感電の原因になります。
- ◆ この装置の外装カバー類は外さないで下さい。感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は保守サービス会社にご依頼下さい。



分解禁止

- ◆ 交流 100V 以外の電圧で使用しないで下さい。装置電源の破損・火災・感電の原因となります。



- ◆ 電源コードを加工したり、傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったりしないで下さい。また、重い物を乗せたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。



- ◆ 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線等）、保守サービス会社に交換をご依頼下さい。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



注意

- ◆ 濡れた手で本装置を操作したり、電源プラグを抜き差ししないで下さい。濡れた手で操作すると、感電の恐れがあります。



- ◆ たこ足配線や延長コードを使用した配線はしないで下さい。電源容量をこえると、火災・感電の恐れがあります。



- ◆ 本装置の上に花瓶・コップ・薬品や水の入った容器またはアクセサリ等の小さな金属物を置かないで下さい。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。
- ◆ 水がかかる場所で使用したり、本装置を水に濡らさないで下さい。火災、感電の恐れがあります。
- ◆ 本装置の開口部から内部にクリップ等の金属類や燃えやすいもの等の異物を差し込んだり、落とし込んだりしないで下さい。配線がショートし、火災・感電の原因となります。



- ◆ 万一、内部に水や異物が入った場合は本体の電源スイッチを切り、差し込みプラグをコンセントから抜いて保守サービス会社にご連絡下さい。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



プラグを抜く

⚠ 注意

- ◆長期間、本装置をご使用にならないときは、安全のため必ず差し込みプラグをコンセントから抜いて下さい。
- ◆移動させる場合は、必ず差し込みプラグをコンセントから抜き、装置間の接続線等の外部配線を外したことを確認の上、行って下さい。
- ◆お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。感電の原因となることがあります。



プラグを抜く

- ◆電源プラグは年1回以上コンセントから抜き、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃して下さい。ほこりがたまると、火災の原因となることがあります。



ほこりを取る

- ◆差し込みプラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないで下さい。コードに傷がつき、火災・感電の原因となることがあります。必ず、差し込みプラグを持って抜いて下さい。
- ◆電源プラグは、コンセントに根本まで確実に差し込んで下さい。確実に差し込んでいないと、火災・感電の原因となることがあります。



プラグを持つ
確実に差し込む

- ◆開梱作業など、本装置を移動または持ち上げる場合は、十分注意して行って下さい。落下してケガをしたり、腰を傷めることがあります。



強制

- ◆本装置の通気口をふさがないで下さい。通気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



- ◆湿気やほこりの多い場所に置かないで下さい。火災・感電の原因となることがあります。
- ◆加湿器のそばなど湯気が当たる様な場所や、直射日光の当たる暑い場所に置かないで下さい。火災・感電の原因となることがあります。
- ◆冷気が直接当たる場所に本装置を置かないで下さい。霜がつき、火災・感電の原因となることがあります。



- ◆本装置の上に重い物を置かないで下さい。バランスがくずれて倒れたり、落下してケガの原因となることがあります。
- ◆本装置をぐらついた台の上や傾いた所、振動の多い場所に置かないで下さい。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- ◆本装置をキャスター付きの台に設置する時は、必ずキャスター止めを使用して下さい。動いたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



- ◆電源コードを熱器具に近付けないで下さい。コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となることがあります。



- ◆取扱説明書で指定する箇所以外のカバーの開閉、点検、清掃、消耗品の交換などはしないで下さい。感電・けがの原因となることがあります。
- ◆シンナーやベンジンなどの薬品類で本装置を拭かないで下さい。火災の原因となることがあります。



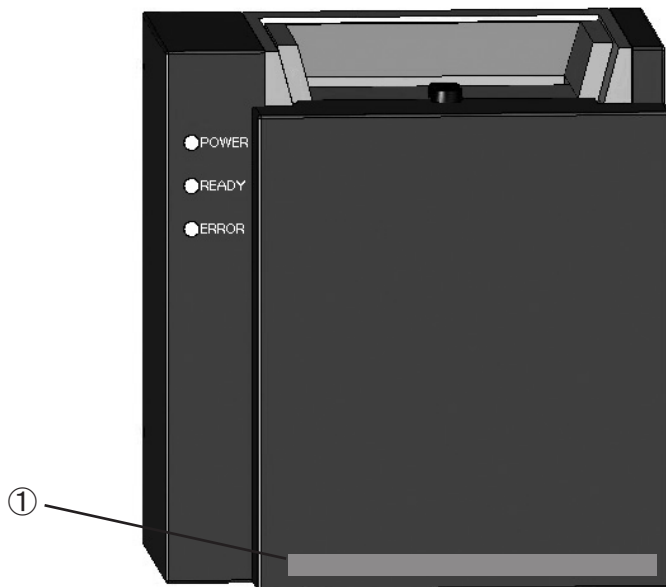
お願い

本装置を正しくお使いいただくために、以下の事項を守って下さい。
守らないと、故障、誤操作、破損などの原因となります。

◆ 結露が生じ、故障、誤動作の原因となりますので、急激な温度変化を与えないで下さい。	⊘
◆ 故障、誤操作の原因となりますので、ほこりの多いところ、振動が強いところに置かないで下さい。	⊘
◆ 故障、誤操作、破損、変形の原因となりますので、直射日光の当たるところ、熱機具や調理台のそば、水や油煙のかかるところには置かないで下さい。	⊘
◆ 故障、誤操作の原因となりますので、磁石やスピーカーなど、磁気を発するものの近くに置かないで下さい。	⊘
◆ 故障、誤操作、破損、変形の原因となりますので、本装置を落としたりぶつけたり、本装置に強い衝撃を与えないで下さい。	⊘
◆ 変質、変形、変色、故障の原因となりますので、お手入れをする時は、シンナーやベンジンなどの薬品類を使用しないで下さい。	⊘
◆ この装置を家庭環境で使用すると、電波妨害を引き起こすことがありますので、テレビ・ラジオの近くでは使用しないで下さい。	⊘

装置貼付の安全上シール表示位置

安全ラベルは下図の位置に貼付しております。
本装置をご使用の際は必ずこの注意を守っていただきますようお願いいたします。



① 読取処理中はカバーを開けないで下さい。

◆◇◆ 目 次 ◆◇◆

1. はじめに	1
2. 概 説	
3. 特 徴	
4. メディア 仕様	2
5. 読み取りシンボル仕様	3
5 - 1 2次元コード規格	
5 - 2 ICタグ規格	
6. 設置	
7. 装置	4
7 - 1 装置の確認	
7 - 2 電源アダプタ / USB ケーブルの接続	
8. 各種機能説明	6
8 - 1 LED ランプ	
8 - 2 MTR モード (オフライン時のテストモード)	
9. 操作	7
9 - 1 読取処理	
9 - 2 メディア詰まりの対応	
10. 各種設定及び調整方法	8
11. 通信仕様	10
11 - 1 コマンドフォーマット	
11 - 2 ステータス及びデータ	
12. その他	15
13. 定期点検	16
14. エラーの対応	17
15. 外観図	18
16. 製品仕様	19
16 - 1 一般仕様	
16 - 2 インターフェース仕様	

1 はじめに

当社の全ての周辺機器は、物流と情報処理の同期化を実現させる装置として生産、物流、流通、金融などのあらゆる分野の現場でドキュメントを効果的にハンドリングできます。また、確実なデータ入出力を実現する為に高機能、高耐久性、簡単な操作を設計思想としたオリジナル製品です。

2 概説

9500 は、手差し方式の QR 読取 /IC タグメディア読み取り・書き込み装置です。読み取ったデータを、USB インターフェースにより上位コンピュータへ送信します。

3 特徴

〈9500〉

- メディアを手挿入することにより、QR/IC タグを読み取り・書き込みし、排出します。
- 読取エラーの場合は、投入口へキックバックをします。

4 メディア仕様

ここでは、9500 の読み取りメディアについて説明します。

メディア寸法等は下図をご覧ください。

QRコード規格 / IC タグ規格については、5 読み取りシンボル仕様をご覧ください。(P.3)

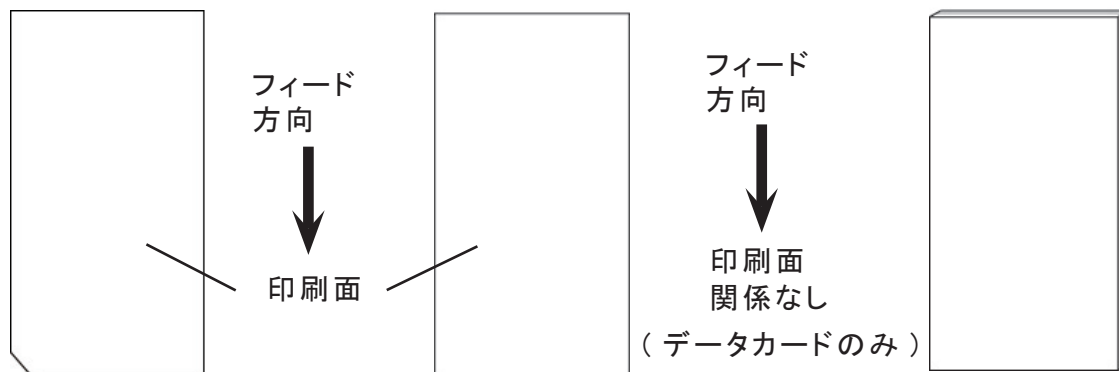
IC タグメディア (リライトカード)

リライトカード

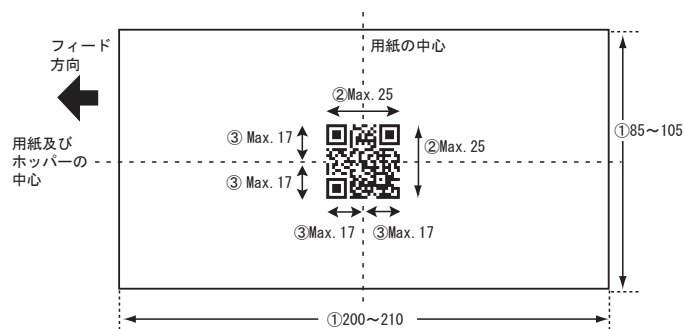
紙かんばん

データカード

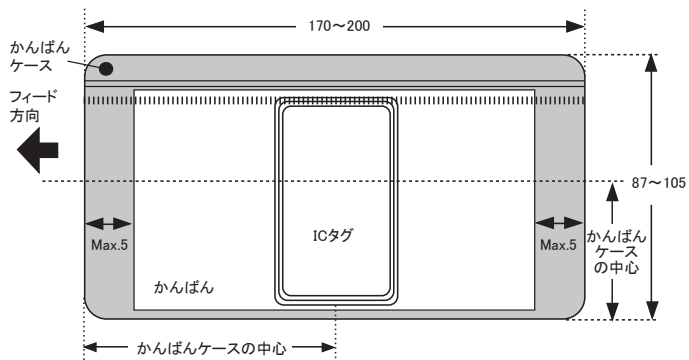
リターナブルかんばん



2次元コードメディア



ICタグメディア



対応機種	IC タグ	幅×長さ (mm)	厚み (μ m)
950B 950L	I-CODE SLIX2	85.6 × 145	410
	Tag-it データカード*	87 × 170	1200
	Tag-it リターナブルカード*	105 × 200	1500
9507 950L	QR	105 × 200	1500
	QR	85 × 200	100

5 読み取りシンボル仕様

5-1 2次元コード規格

〈マトリクス型の場合〉

- 最小セル寸法 = 0.25mm
- マージン = 4セル以上
- 最大データ量 = 500byte
- PCS値 = 0.45以上
- 誤り訂正 = 4レベル(L,M,Q,H)対応 ※QRコードの場合

5-2 ICタグ規格

- ICタグ : Tag-it HF-I ※テキサスインスツルメンツ社製
- 適合法規 : ISO/IEC15693
- メモリ容量 : 256byte
- 通信周波数 : 13.56MHz
- カードに折れ、曲げ、欠け、割れのないこと

〈ICタグデータフォーマット〉

区分	レコード	内容(8バイト)	備考
データ領域	00	データ領域 00	読み取り・書き込み可
	01	データ領域 01	読み取り・書き込み可
	02	データ領域 02	読み取り・書き込み可
	⋮	⋮	⋮
	30	データ領域 30	読み取り・書き込み可
	31	データ領域 31	読み取り・書き込み可
	UID ※	UID : Unique Identifier	読み取りのみ可

※製造メーカーが付ける識別番号やデータとして使用。

6 設置

設置場所

以下の場所での使用及び保存は、故障の原因となりますので避けて下さい。

- a. 直射日光の当たる場所や、発熱をする機具の近く。
- b. 極端な高温下や、低温下、または温度変化の激しいところ。
- c. 極端に湿度の多い場所や、ほこりの多い場所。
- d. 衝撃、振動の加わる場所。
- e. 薬品を含む空气中。

また以下の点に留意して設置して下さい。

- a. 電源はAC100V(±10%)です。
装置を安全かつ安定に動作させるために必ずアースをとって下さい。
- b. 設置に供給する電源回路上に次に示すような電氣的ノイズを誘発させる機器がある場合には、別の電源から供給するか別の分岐回路を設けて下さい。
空調機器、電気溶接、電話交換機、高電圧開閉機、エレベータ
- c. 交信に影響を与えたり、ICタグが破壊される可能性があるため、同じ周波数帯で大きな出力をする機器の周辺は避けて下さい。

7 装置

次の点にお気づきのときは、ただちに販売店にご連絡下さい。

- ・届いた装置が、注文書の内容と違う。
- ・輸送による損傷が見つかった。
- ・途中で組み立てができなくなった。

7-1 装置の確認

〈基本構成〉

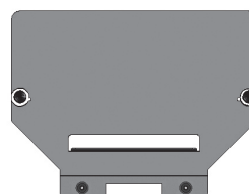
- 本体

〈9500〉

- 取扱説明書（本書）

- 電源アダプタ

- タブレットスタンド



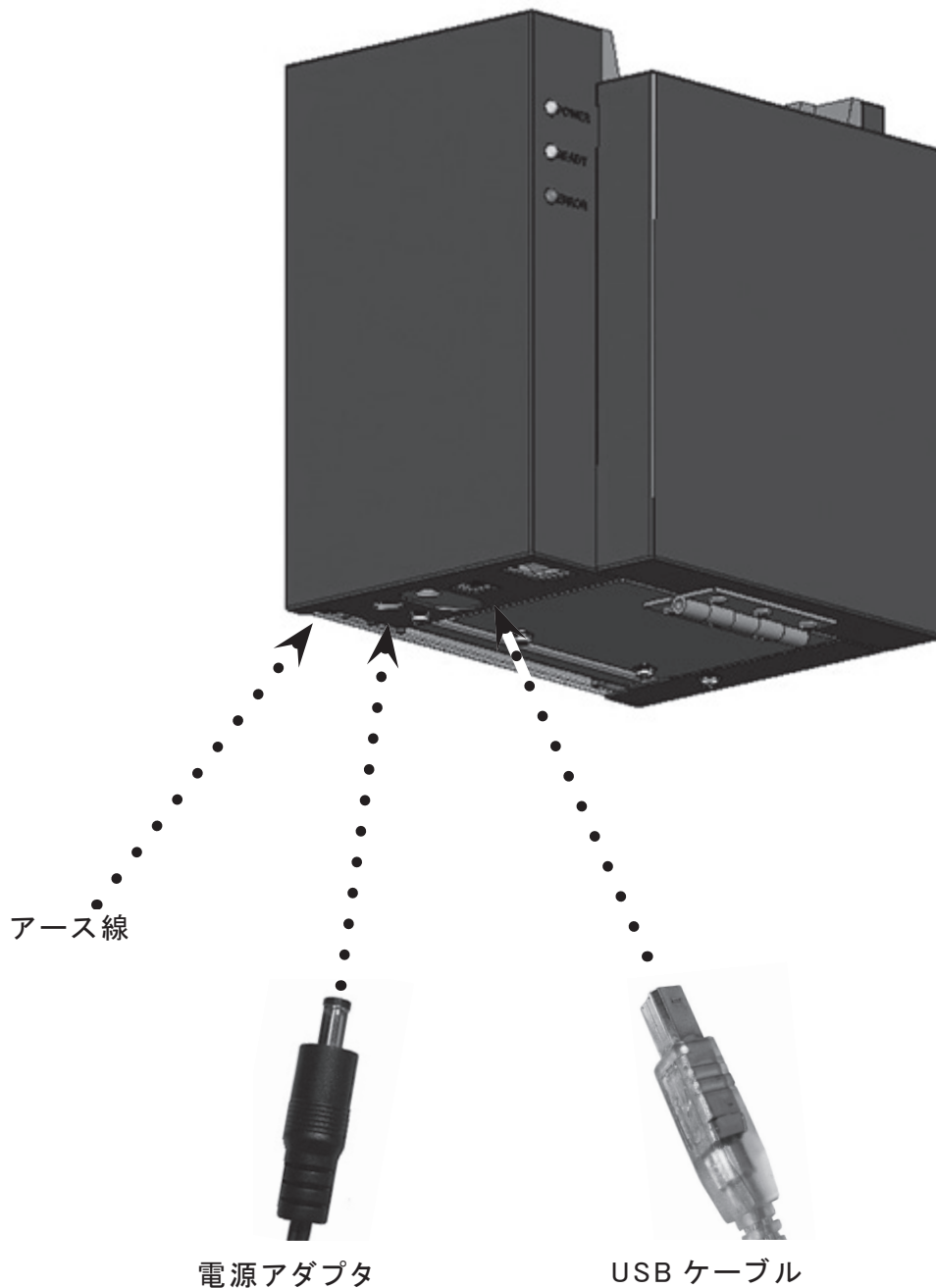
7-2 電源アダプタ／インターフェースケーブルの接続

⚠ 注意

電源アダプタ／ケーブルを接続する際は、電源アダプタがコンセントから抜けていることを確認してから行って下さい。
感電やけがの恐れがあります。

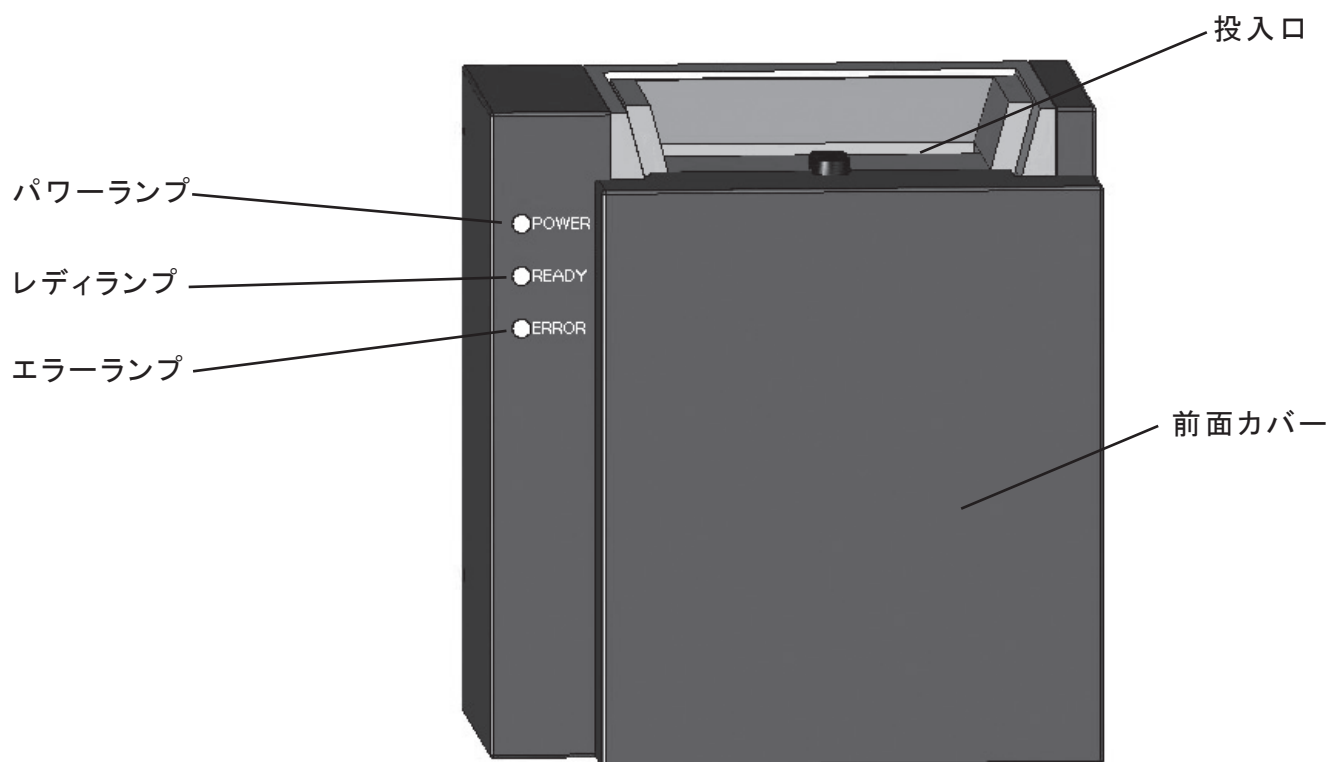
① 電源アダプタを図のように接続して下さい。

〈9500〉



8 各種機能説明

ここで述べる説明において、下図の名称を用いますので、各部の位置、名称をご確認下さい。



8-1 LED ランプ

LED ランプは以下の各部により構成されています。

ランプの機能

名称	LED ランプ	機能
パワー	LED (緑)	電源投入中に点灯します。
レディ	LED (緑)	読取り可能状態の時に点灯します。
エラー	LED (赤)	エラーが起きると点灯します。

8-2 MTR モード (オフライン時のテストモード)

ディップスイッチの 1-4 (P.9) を ON にすると、コンピュータと接続せずにオフラインにより、読み取りテストを行うことができます。

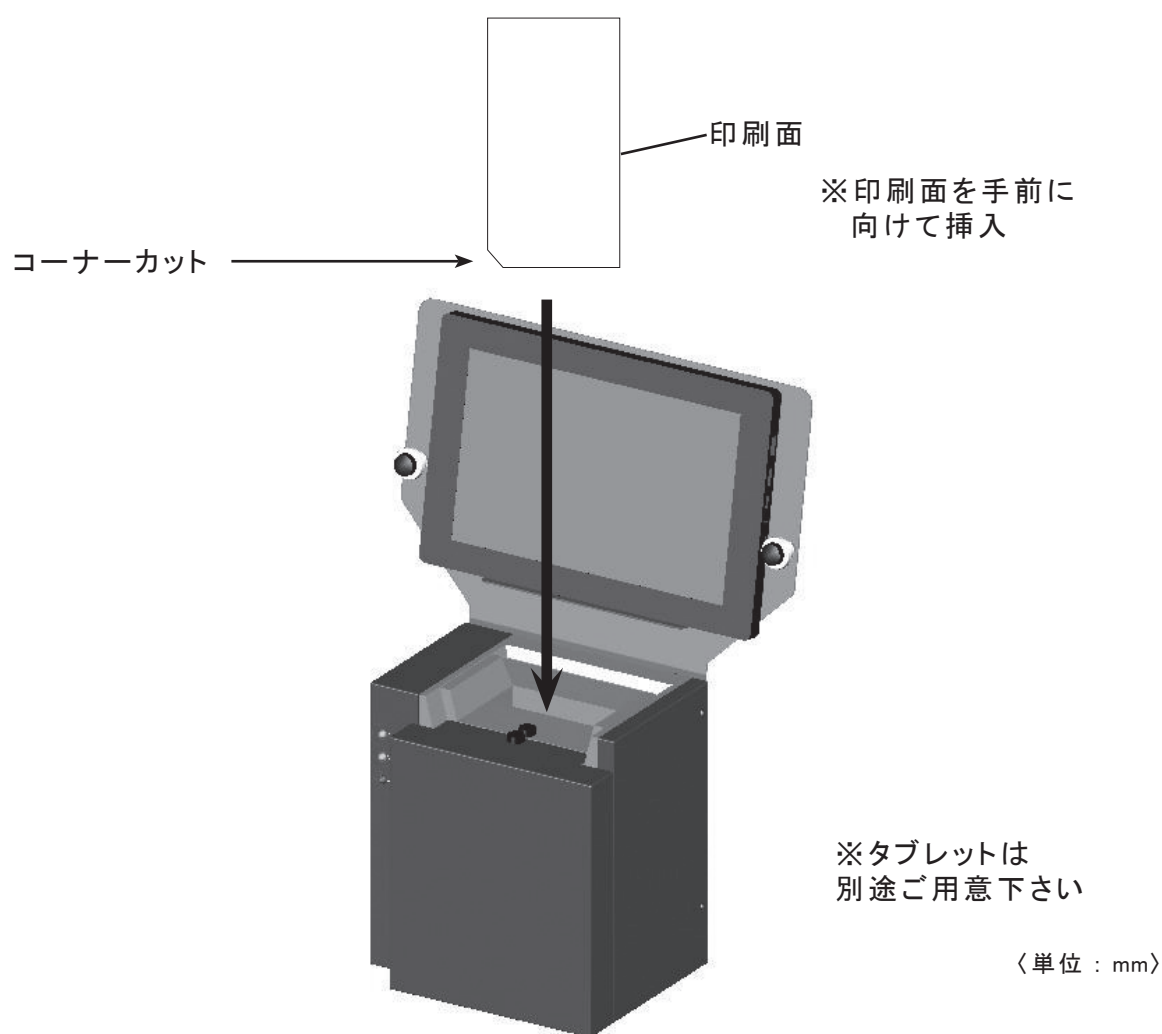
9 操作

9-1 読取処理

⚠ 注意

処理中はメディアストッパー内に手を入れないで下さい。
手が挟み込まれる危険性があります。

- ①メディアの印刷面を手前にして（コーナーカット部分を下向きにして）メディア投入口に挿入して下さい。
- ②読み取り・IC タグへの書き込みをすると、ブザー音が鳴り、メディアを排出口に排出します。



9-2 メディア詰まりの対応

メディアが詰まった時は、詰まったメディアを取り出して下さい。

10 各種設定及び調整方法

◆通常は、当社にて出荷調整を行いお客様に納入させて頂いております。
出荷の際のテストメディア（お客様からお送り頂いたもの）以外のメディアで本装置をご使用の際は以下の調整を行って下さい。

※上記テストメディアと状態が異なるもの（メディア種類、サイズ、厚み、メディア変形等）を使用されますと、搬送不良や読み取り不良が発生する原因となります。メディアは、当社指定のリライトカードのみ使用可能です。

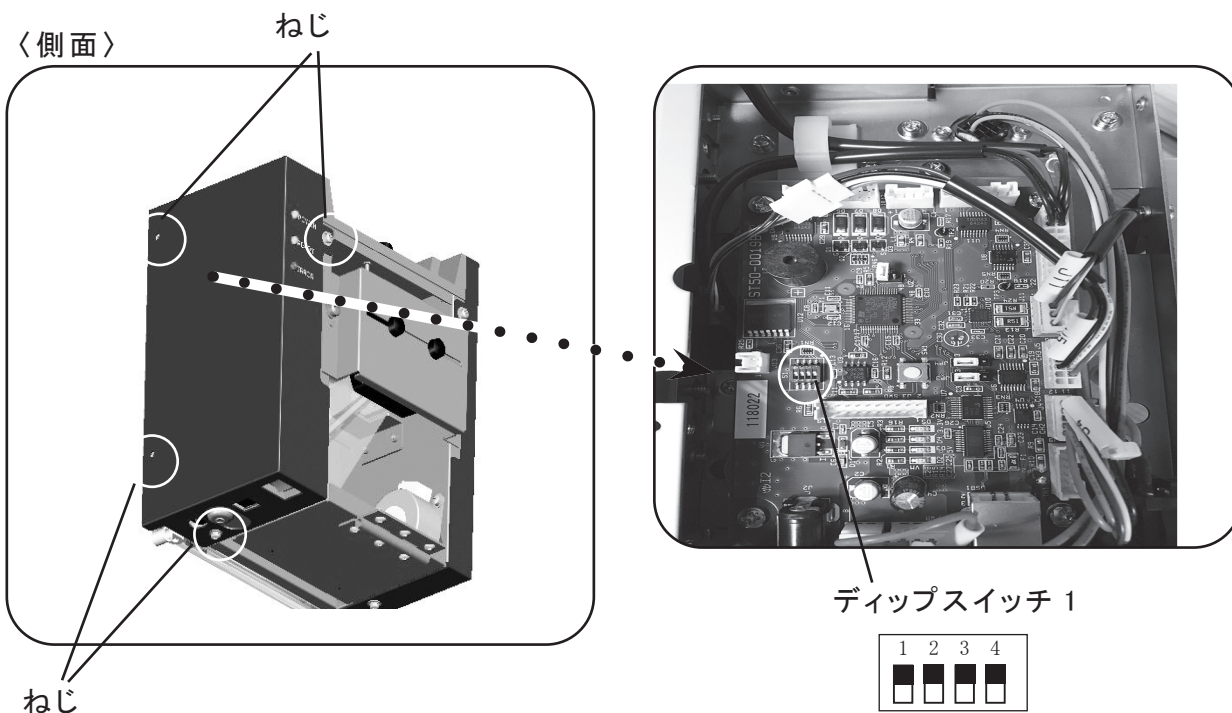
⚠ 注意

- 以下の設定、調整をする際は電源アダプタを抜いてから行って下さい。感電やけがの恐れがあります。
- 以下の設定、調整をする際は機器の取り扱いに十分注意して確実に行って下さい。フレーム部でけがをしたり、使用中に部品が外れて事故の原因になります。

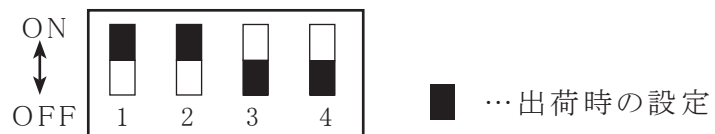
ディップスイッチの設定

ディップスイッチで各種設定を行います。

- ①電源アダプタを抜いて下さい。
- ②側面カバーの4本のねじを外します。
- ③次項の表に従い、スイッチで設定を行います。
- ④設定終了後、側面カバーを取り付けて下さい。
- ⑤ディップスイッチの変更後は、電源アダプタを接続し直して下さい。



●ディップスイッチ



		1	2	3	4
読取モード メディア	QRのみ	OFF	OFF		
	RFのみ	OFF	ON		
	QRかRF(RF優先)	ON	OFF		
	カスタム設定	ON	ON		
モーターテスト	非実行			OFF	
	実行			ON	
動作モード	オンライン				OFF
	テストモード				ON

11 通信仕様

11-1 コマンドフォーマット

ここではパソコンから 9500 へ送るコマンド、及びその書式について記述します。

① 装置リセット命令

このコマンドを受信することにより、動作をストップし、装置を初期状態にします。
コマンドで変更している読取設定は継続されます。

"I"	CR			
49H	0DH			
1	1	2		バイト

② 読取命令

このコマンドを受信することにより、メディアの読取待ちとなります。
メディアをフィードして読取をすると、読取データ（読取エラーステータス）を
ホストへ転送します。

RF 読取は、0 ブロック目から 64 ブロックの読取をします。

"F"	CR			
46H	0DH			
1	1	2		バイト

③ RF 読取命令

読取ブロックを指定して RF 読取を行います。（RF タグの容量を超える指定をすると
読み取りエラーになります）

メディアがフィード読取されていない時は、メディアをフィードして読取を行います。
メディアがフィードされている時は、その状態で読取を行います。

"F"	XX	XX	CR		
46H	①	②	0DH		
1	2	2	1	6	バイト

① 読取開始ブロック

読取開始ブロックを指定します。

"00" ~ "98"

② 読取するブロック数

読取するブロック数を指定します。

"01" ~ "98"

④ 読取命令後の RF 書込命令

フィード読取後、書込ブロックを指定して RF 書込を行います。（RF タグの容量を超え
る指定をするとエラーとなります）

"W"	XX	XXXX	CR		
57H	①	②	0DH		
1	2		1		可変長

① 書込開始ブロック

書込開始ブロックを指定します。

“00”～“98”

② 書込データ

書込データを指定します。(1ブロックは4バイトですので最後のブロックが4バイトにならない分はblankとなります。)

指定は最大392バイトまでです。

⑤ 排出命令

読取／書込後、正常排出又はキックバック排出を指定します。

“P”	X	CR	
50H	①	0DH	
1	1	1	3 バイト

① 動作指定

’0’：正常排出

’1’：キックバック排出

⑥ 読取モード変更命令

読取モードを変更します。

読取待ち状態でない停止中(’I’コマンド受信後など)に有効です。

“B”	X	XXX	CR	
42H	①	②	0DH	
1	1	3	1	6 バイト

① 読取するシンボルの種類

’0’：QR 読取有り

’1’：RF のみ

’2’：QR か RF(QR 優先)

’3’：QR か RF(RF 優先)

② 読取位置

読取停止する位置をメディアの先端からmm単位で指定します。

“010”～“190”

“010”より小さい場合は“010”にします

“190”より大きい場合は“190”にします

注) 読取位置はメディア後端の長さが73mm以上あるように設定してください。

⑦ 読取モードカスタム設定書込命令

読取モードをカスタム設定してメモリーに書き込みます。

メモリーに書き込みをするのみで、読取状態の変更はされません。

読取待ち状態でない停止中(’I’コマンド受信後など)に有効です。

“M”	“W”	X	X	XXX	CR	
4DH	57H	①	②	③	0DH	
1	1	1	1	3	1	8 バイト

①メモリー登録するナンバー

登録するナンバーを指定します。
'0' ~ '9'

②読取するシンボルの種類

'0' : QR 読取有り
'1' : RF のみ
'2' : QR か RF(QR 優先)
'3' : QR か RF(RF 優先)

③読取位置

読取停止する位置をメディアの先端からmm単位で指定します。

“010” ~ “190”

“010” より小さい場合は “010” にします。

“190” より大きい場合は “190” にします。

注) 読取位置はメディア後端の長さが73 mm以上あるように設定してください。

⑧読取モードカスタム設定読み出し命令

カスタム設定した読取モードを読み出します。

登録読み出しをしたパラメータで処理がされます。

登録をしていないナンバーを読み出した場合は、どのような動作になるのか不定です。

読取待ち状態でない停止中('I' コマンド受信後など)に有効です。

"M"	"R"	X	CR
4DH	52H	①	0DH
1	1	1	1

4 バイト

①メモリー登録したナンバー

登録したナンバーを指定します。
'0' ~ '9'

⑨電源投入時カスタム設定読み出し命令

電源投入時に読み出しするカスタム設定の登録ナンバーを指定します。

登録をしていないナンバーを読み出した場合は、どのような動作になるか不定です。

読取待ち状態でない停止中('I' コマンド受信後など)に有効です。

"M"	"P"	X	CR
4DH	50H	①	0DH
1	1	1	1

4 バイト

①メモリー登録したナンバー

登録したナンバーを指定します。
'0' ~ '9'

⑩ファームウェアバージョン取得命令

このコマンドを受信することにより、ファームウェアのバージョンを返送します。

読取待ち状態でない停止中('I' コマンド受信後など)に有効です。

"V"	CR
56H	0DH
1	1

2 バイト

11-2 ステータス及びデータ

ここでは 9500 からパソコンへ送るステータス、及びデータについて記述します。

① 読取データ（読取するシンボル種類が、「QRのみ/RFのみ/QR後RF」の時）

読取が正常に行われた場合には、読取データを CR でターミネートしてホストに転送します。

(データ)	CR		
	0DH		
N	1	N+1	バイト

② 読取エラー

読取が正常に行われなかった場合には、このステータスを送信します。

ESC	'?'	CR		
1BH	3FH	0DH		
1	1	1	3	バイト

③ RF 書込エラー

RF 書込が正常に行われなかった場合には、このステータスを送信します。

ESC	'W'	CR		
1BH	57H	0DH		
1	1	1	3	バイト

④ 電源投入

装置の電源が投入されて、RS-232C の DR が ON になった時に 1 回だけ送信します。電源投入時の不安定な電気レベルがデータとして先頭に付加される場合があります。

ESC	'P'	CR		
1BH	50H	0DH		
1	1	1	3	バイト

⑤ 走行エラー

メディア搬送で詰まりが発生した場合には、このステータスを送信します。ホストはこのステータスを受信した場合は、装置リセット命令を実行してください。

ESC	'U'	CR		
1BH	55H	0DH		
1	1	1	3	バイト

⑥ コマンドエラー

誤ったコマンドの受信（受信可能状態以外でコマンドを受信したを含む）場合、または通信エラー（パリティ等）が発生した場合にこのステータスを送信します。ホストはこのステータスを受信した場合は、装置リセット命令を実行してください。

ESC	'C'	CR		
1BH	43H	0DH		
1	1	1	3	バイト

⑦ 正常応答

装置リセット命令を正常処理するところのステータスを送信します。
RF 書込が正常に行われるところのステータスを送信します。
排出命令を正常受信するところのステータスを送信します。
読取モード変更命令を正常受信するところのステータスを送信します。
読取モードカスタム設定書込命令を正常受信するところのステータスを送信します。
読取モードカスタム設定読み出し命令を正常受信するところのステータスを送信します。

ESC	'0'	CR	
1BH	30H	0DH	
1	1	1	3 バイト

⑧ ファームウェアバージョン応答

ファームウェアのバージョンをホストへ送信します。

XXXXXX	CR	
①	0DH	
7	1	8 バイト

①ファームウェアバージョン 8 バイト
例：181204A

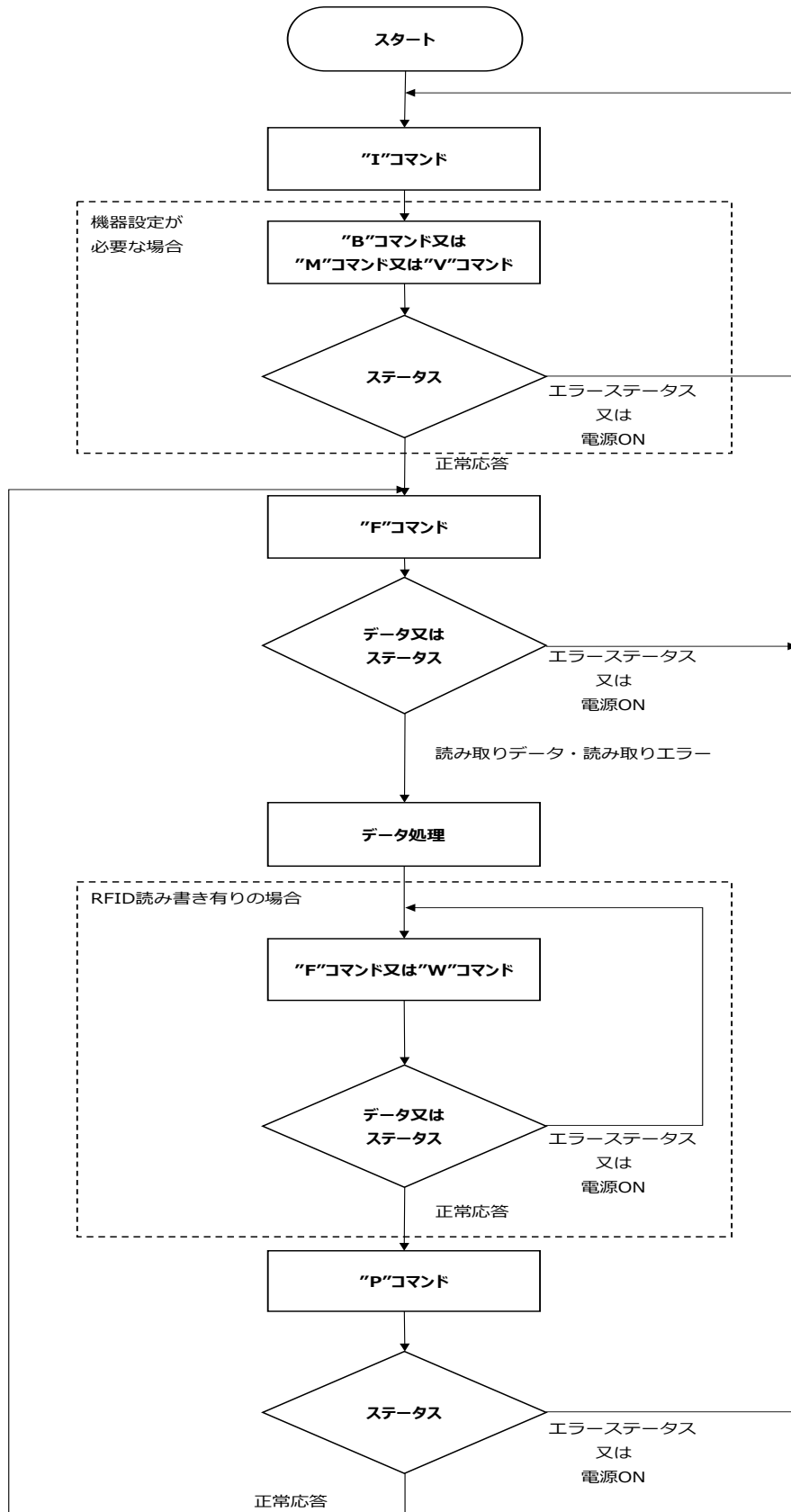
⑨ 重送エラー

メディア搬送で重送が発生した場合には、このステータスを送信します。
ホストはこのステータスを受信した場合は、装置リセット命令を実行してください。

ESC	'D'	CR	
1BH	44H	0DH	
1	1	1	3 バイト

12 その他

ステータスマトリクス



13 定期点検

⚠ 注意

- 作業をする時は必ず電源アダプタを抜いて下さい。
感電やけがの恐れがあります。
- 本装置のメカ内部は、フレーム部が切り出しており危険です。
手を入れるときは必ず手袋をするようにして下さい。
- 必要時以外はカバーを開けないで下さい。
- 指定箇所以外のカバーは開けないで下さい。また、本装置を分解、修理、改造しないで下さい。故障、感電、けがの恐れがあります。

日常の点検により、機器の機能を正常に維持するとともに、ハードトラブルを低減することが可能です。

◆点検時に使用する道具◆

- アルコール … イソプロピルアルコール
布 … 乾いた、汚れていない、柔らかいもの。
機器を傷つけるようなものは、
使用しないで下さい。
綿棒 … 機器内部は、柄の長いものを使用して下さい。
洗剤 … 中性洗剤
エアガン … エアガンが無い場合は、市販品のエアスプレーをお使い下さい。
掃除機

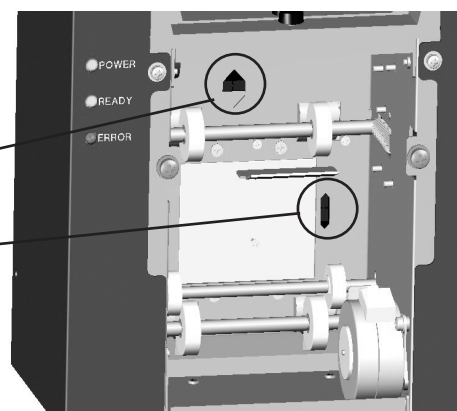
1) 外部

本装置外部の汚れは柔らかい布で乾拭きして下さい。汚れがひどい場合は、中性洗剤またはアルコールを含ませた布で拭いた後、乾いた布で拭いて下さい。
※機器に直接洗剤をかけたり、噴射しないで下さい。

2) センサー

センサーが汚れると、エラーの原因になりますので、エアガン（エアスプレー）などで、ほこりを吹き飛ばすか、または綿棒で乾拭きして下さい。
(洗剤、アルコールは使用しないで下さい。
センサーが薬品によりくもったり、傷ついたりします。)
センサーの位置は右のとおりです。

S1 センサー
S2 センサー



14 エラーの対応

ご使用中に異常が生じたときは、次の点をお調べ下さい。

読み取り・書き込みできない

- IC タグ・アンテナが破損している可能性があります。
→別のカードで正常に読み取りができる場合は、読み取りエラーのカードを新しいものに取り替えて下さい。

メディアが詰まった

- P.7 メディア詰まりの対応をご覧下さい。

搬送エラー／メディア詰まりが多発

- 標準仕様以外のメディアを使用していませんか？
→標準仕様メディアと状態が異なるもの（メディア種類、サイズ、厚み、メディア変形等）を使用されますと、搬送不良や読み取り不良が発生する原因となります。

オンラインにならない

- USB ケーブルが抜けていたり、接触不良になっていませんか？
→確認の後、再度電源を入れ直して下さい。
- アプリケーション側の問題はありませんか？
→動作実績のある他のプログラムで動作確認をして下さい。

電源スイッチを入れても、パワーランプがつかない

- 電源アダプタがコンセントにしっかり差し込まれていますか？
→電源アダプタをコンセントにしっかり差し込み直します。
- コンセントまで電源がきていますか？

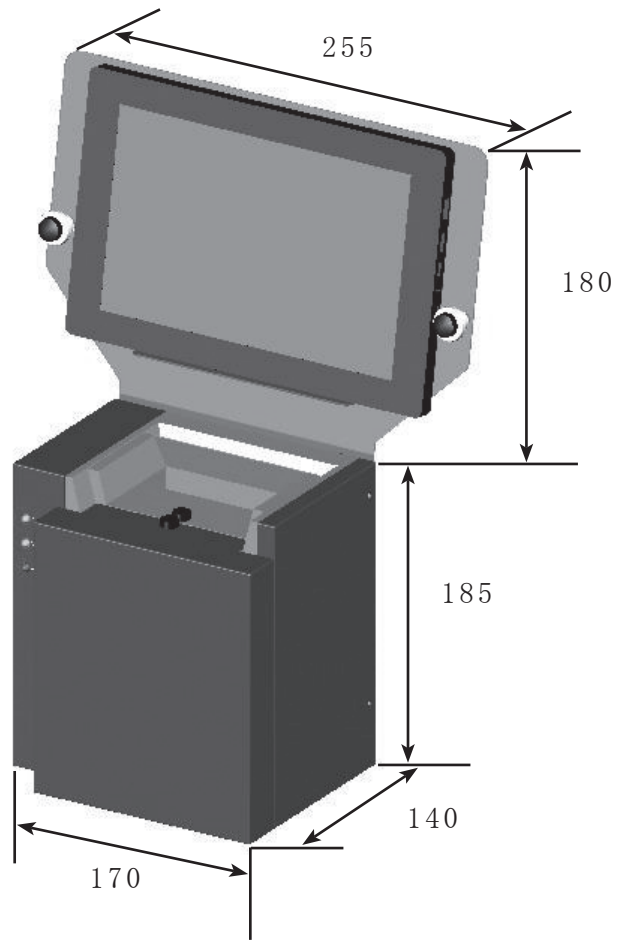
コマンドやステータス・データの送受信ができない

- USB ケーブルが抜けていたり、接触不良になっていませんか？
→確認の後、再度電源を入れ直して下さい。

以上のことをお調べいただいても、機械が動かないときは、機種名と不具合の状況を詳しくご連絡下さい。

機器の修理サービスについては、当社までお問い合わせ下さい。

15 外觀圖



〈單位：mm〉

16 製品仕様

16-1 一般仕様

	9507	950B	950L
QR 読み取り	あり	なし	あり
読み取り・書き込み IC タグ	QR	Tag-it I-CODE SLIX2	QR / Tag-it I-CODE SLIX2
読み取り確認	読み取り OK…短音ブザー 1 回 読み取りエラー…長音ブザー 1 回		
読み取りメディアサイズ	リライトカード…縦 85.6 × 横 145 × 410 μ m データカード…縦 87 × 横 170 × 1200 μ m 紙かんばん…縦 85 × 横 200 × 100 μ m リターナブルかんばん…縦 105 × 横 200 × 1500 μ m		
読み取りメディア厚	100 μ m ~ 1500 μ m		
インターフェース	USB		
入力電力	DC5V		
消費電力	9W		
使用温度	5 ~ 40℃		
使用湿度	30 ~ 80% (結露無きこと)		
外形寸法 (W/H/Dmm)	150 × 130 × 55		
重量	3.2kg		

16-2 インターフェース仕様

USB インターフェース

USB のインターフェース仕様は、別冊の「USB インターフェース取扱説明書」を参照して下さい。



URL <http://www.ap-refine.co.jp>

E-mail info@ap-refine.co.jp

〒 472-0056 愛知県知立市宝 2 丁目 6-16 宝 BOX

TEL 0566-91-5001 FAX 0566-82-6116

- ・本製品に関するお問い合わせや、万一製品が故障した場合は、上記までご連絡下さい。
- ・本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- ・本書の内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り、お気づきの点がありましたら上記までご連絡下さい。
- ・本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、禁じられています。

製造者	: 株式会社エイピーリファイン
製品型番	: 9500 シリーズ
製品名	: e-ポスト 生産実績収集端末
製造国	: 日本